

# ごあいさつ

三次市では、平成16年4月の合併による新市のまちづくりの指針として、平成18年に策定した第1次三次市総合計画「みよし百年物語」に基づき、各種施策を展開し、都市機能の集積、情報通信網や道路交通網の整備、子育て支援、教育や医療環境の充実などに成果を上げてきました。しかしながら、様々な取組と努力の中でも、人口減少・少子高齢化は進行しています。

そこでこのたび、これからの10年間という中長期を見据え、人口減少・少子高齢社会に挑戦し、市民のしあわせを実現していくという強い決意のもと、まちづくりの総合指針「第2次三次市総合計画」を策定しました。

人口減少・少子高齢化の進行に加え、コミュニティや働き方の変化、経済のグローバル化の進展や広域道路網の形成など、私たちを取り巻く社会経済環境は大きく変化しています。

こうした大きな変化の中で、この美しい三次を守り、未来の三次市民に夢の持てる活力ある地域を引き継いでいくためには、三次に暮らす私たち一人ひとりが三次の良さに誇りをもち、その良さを活かしながら、力を合わせてまちづくりに取り組むことが何よりも大切です。

めざすまちの姿「しあわせを実感しながら、住み続けたいまち～中山間地の未来を拓く拠点都市・三次～」には、三次市総合計画審議会をはじめ、市民まちづくり塾、住民自治組織など、計画策定にご協力いただいた多くの方の思いや夢がつまっています。現実から逃げることなく、現実を直視し、身近にあるものに新たな価値を創造していくことで、みんなで「夢」を実現させようではありませんか。

三次市は、この計画のもと、市民の力が最大限に発揮される協働のまちづくりと、地理的優位性を活かしながら広域圏における拠点性を維持・向上させていくまちづくりに全力で取り組んでまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただきました皆さま、ご協力いただきました全ての皆さまに心からお礼申し上げます。

平成26年3月

広島県三次市長

増田和俊

# 三次市総合計画目次

## 第1 計画書

第1章 総合計画の策定について	2
第2章 社会経済潮流の変化とまちづくりの主要な課題	4
第3章 まちづくりの基本的方向	12
第4章 まちづくりの取組	18
第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」	20
第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」	28
第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」	36
第4節 美しい風景を後代に伝える「環境づくり」	46
第5節 参加と行動による、つながる「しくみづくり」	54

## 第2 付属資料

付記1 用語解説	62
資料1 策定体制	70
1 三次市総合計画審議会	70
2 市民まちづくり塾	77
3 住民自治組織	84
4 三次市総合計画等策定委員会	100
資料2 市民アンケート調査結果	102